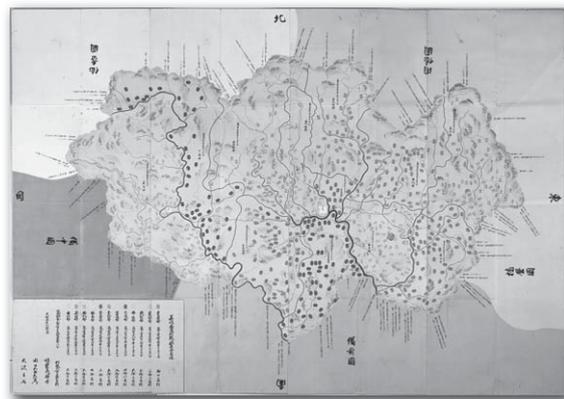


美作国のできごと

- 約3万年前 旧石器人が美作に居住
- 約7000年前 竹田遺跡に住居が作られる
- 4世紀頃 赤峪古墳が築かれる
- 6世紀頃 美作地域で製鉄がはじまる
- 645 大化の改新
- 701 大宝律令制定
- 713 備前国の北部6郡を割いて美作国建国
上毛野堅身が国守となる
- 856 苫田郡から朝廷に白鹿を献ずる
- 1133 法然が美作国（現久米南町）に生まれる
- 1136 このころ平忠盛が美作国守となる
- 1184 梶原景時が美作・播磨両国の守護となる
- 1221 承久の乱で隠岐配流となった後鳥羽上皇が美作国通過
- 1302 登美荘、京都賀茂社の神社造営に、登美杉より木材を輸送する
- 1332 元弘の変で隠岐配流となった後醍醐天皇が美作国通過
- 1368 小田草神社の梵鐘が造られる
- 1441 美作国守護・赤松満祐が、将軍・足利義教を謀殺（嘉吉の乱）
- 1467 応仁の乱
- 1532 出雲国の尼子詮久が、美作・備中両国を攻略
- 1566 毛利元就が尼子氏を滅ぼし、美作国を支配
- 1582 毛利と宇喜多の争いで、宇喜多方の守る西屋城が落城
- 1584 宇喜多秀家が美作国を領有
- 1600 関ヶ原の合戦
- 1603 森忠政が美作国を拝領（池田忠継が備前国を拝領し、岡山・津山両藩が成立）
- 1604 森忠政が津山城を築城（1616年まで）
- 1694 津山藩主・森長成が奥津温泉で湯治（1697年にも湯治）
- 1697 津山藩主の森家が断絶（翌98年に松平長矩が藩主）
- 1726 山中一揆が起こる
- 1871 廃藩置県で美作に北条県設置（のちに岡山県に統一）
- 1880 中島衛らが郷党親睦会を結成
- 1928 恩原ダムが完成
- 1932 奥津溪が国指定名勝に指定される
- 1945 太平洋戦争終戦
- 1955 人形峠でウランが発見される
- 1969 森江家住宅が国指定建造物に指定される
- 2004 苫田ダムが完成
- 2005 町村合併により美作市・真庭市・美咲町が誕生、新たな津山市・鏡野町が発足
- 2013 美作国建国1300年を迎える



美作国の天保国絵図

天保国絵図は、天保6年（1835年）に江戸幕府からその作成が命じられ、同9年（1838年）に完成。山や川、道路などのほか、郡別に色分けされた楕円形の枠内には村名と石高が示され、当時の様子を伺い知ることができます。（旧旭町の一部が備前国、旧北房町の一部が備中国、旧建部町の一部が美作国に含まれていたため、現在の美作圏域図とは形が異なります）

すると、さらに多くの風俗や習慣に触れることとなりました。そうした体験を積み重ねる中で、あらゆるものが渾然一体となりながら、私たちの美作はかたちづくられてきました。

生き続ける美作

明治維新を経て、近代的な行政組織が整備されていく過程で、美作全体を行政区画とした北条県は、明治9年（1876年）、備前・備中・

美作を統合する岡山県へと発展的に解消しました。こうして、古い制度や考え方は解体していったのですが、それでも私たちには、皆の気持ちの一つにする何かが残りました。この地に生まれ、この地に育った私たち、そして今、平成25年（2013年）のこの地に生きる私たちの中に、この地の土と水と空気が育んだもの、そしてこれからも生き続けるもの、それを、私たちは美作と呼ぶのでしよう。



美作圏域10市町村広報紙で 合同記事を掲載

今月は、美作国建国1300年記念事業の開幕に合わせ、美作圏域10市町村の共同特集（P1～5）としています。表紙には、この記念事業のイベントに参加している人や実行委員として関わっている人が登場。（各市町村から1人）この記念事業の目的である、「美作地域をつなぐ」をイメージして制作しました。さあ、つながろう！

今月の表紙

上段左から▶**光岡宏文さん**（津山市：津山青年会議所理事長）、**安藤由貴子さん**（美作市：郷土絵本作家）、**三谷弦太郎くん**（真庭市：ミュージカル「みまさか猿神退治」子猿役）、**石堂延史さん**（新庄村：村役場観光担当）、**片田八重美さん**（鏡野町：製作者集団「猪八戒」代表） 下段左から▶**原まち子さん**（勝央町：街道祭実行委員・いろいろぐみ代表）、**白岩将伍さん**（西栗倉村：村役場観光担当）、**柴田和真さん**（奈義町：奈義町歌舞音座お囃子隊メンバー）、**重近房子さん**（久米南町：町文化協会副会長）、**日名川茂美さん**（美咲町：作州餅後継者認定）